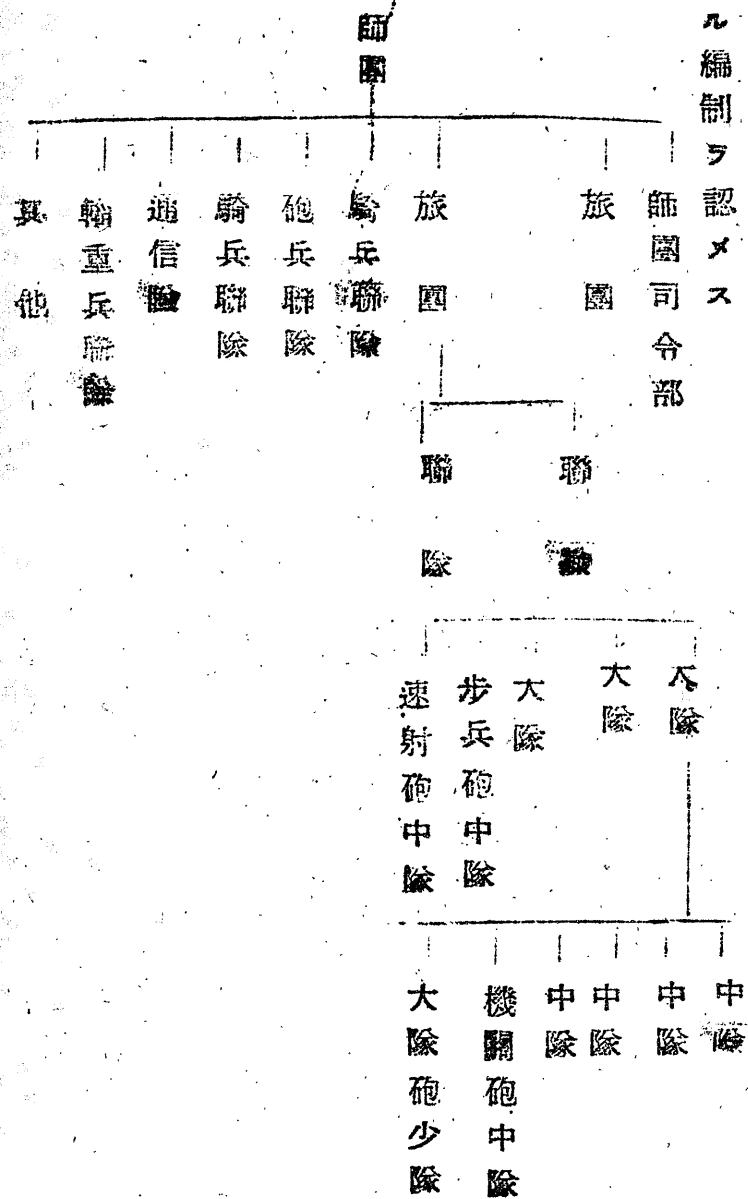


第四節 在支部隊編輯

第一期（昭和十二年一昭和十三年）

各部隊ハ昭和十二年又ハ昭和九年展陸軍動員計畫令ニ據ル編輯ヲ採用シ特

異ナル編輯ヲ認メス



第二期（昭和十四年—昭和十六年）

支那戰面ノ擴大及對ソ戰備強化ノ爲在支兵團中主要ナルモノヲ滿洲ニ轉用スル爲編成セラレタル在支師團（第三十二師團—第四十師團）ハ主トシテ予算ノ關係上裝備ハ次等的ナルモノトシ且三單位制ヲ採用セリ蓋シ當時ニ於テハ「ソ」兵備ノ強化ヲ以テ國庫兵備ノ最重點トシ在滿兵備改變要領ヲ實施中ニシテ物的資源ヲ能フ限り之ニ注入セリ

又軍備改變ニ伴ヒ在來師團ノ第三、第六師團等モ三單位編制ニ改變セラレタリ
大隊一（三中隊一機關砲中隊一大隊砲小隊）

師團司令部 步兵聯隊

步兵團 步兵聯隊

步兵聯隊

大隊

大隊

步兵砲中隊

透射砲中隊

通信中隊

騎兵（搜索）聯隊

砲兵聯隊

工兵聯隊

通信隊

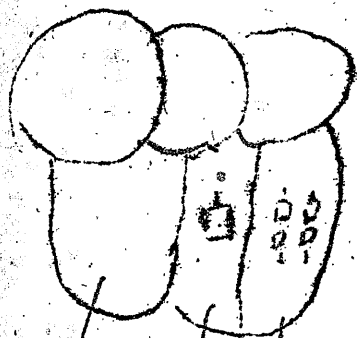
輜重兵聯隊

其他

第三期（昭和十七年—昭和十九年）

1 大東亞戰爭ノ發起ニ伴ヒ在支師團ヲ主決戰正面ニ轉用シ大本營ノ戰略ヲ備トシテ若干師團ヲ掌握又狀況ニ依リテハ成ルハク多クノ兵力ヲ隨時轉用シ得ルノ態勢ニ置クノ必要アリテ其ノ補償トシテ兵團ヲ新設スルノ必要アリ而シテ當時ノ支那戰場ニ於ケル作戰ノ様相ハ所謂匪賊討伐等ノ作戰ニシテ敵ノ進攻武力又強大ナラス

且我作戰目的モ亦占據地域ノ安定確保シアリタルヲ以テ最モ經濟的兵備トシテ左ノ如キ一般構想ノモトニ兵備ヲ實施セリ



治安師團ノ占領地域

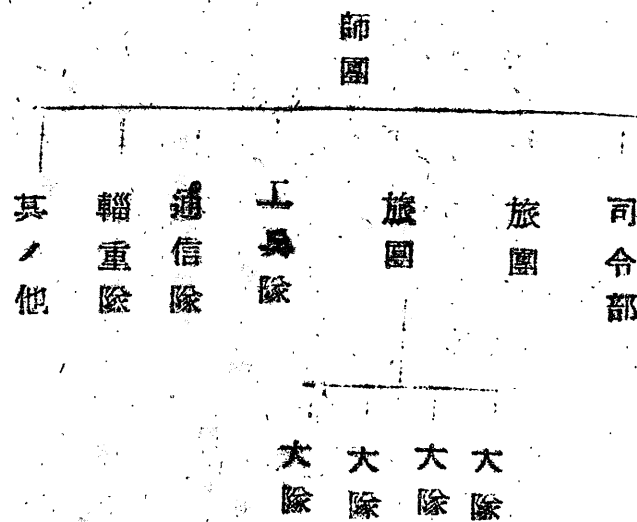
機動師團

機動力ヲ有スル從來ノ師團

特科部隊

期ヲ在來ノ編制裝備比較的良好ナル師團（第三、第十三師團等）ハ之ヲ

集結シテ教育訓練ヲ徹底シ隨時主決戦方面ニ轉用シ得ルノ態勢ニアラシ
ムルヲ共ニ作戰地域内ノ骨幹武力トシテ進攻シ來ル敵ヲ隨時攻撃シ得ル
態勢ニアラシメ作戰地域内ノ安寧確保ノ爲新ニ治安ニ任スヘキ師團
(通稱治安師團)ヲ新設ス(第五九、第六〇乃至第六四師團等)其ノ編
制左ノ如シ



右師團歩兵ヲ主体トシ且特科部隊及機動力ノ大部ヲ缺キ特科部隊中砲兵ハ之ヲ獨立聯（大）隊トシテ教育訓練ニ便ナラシムルト共ニ作戰ニ際シテハ治安師團ニ臨機配屬ス
轉移シアリタルヲ以テ我軍ノ兵備モ亦此ノ地下工作戰ニ適スル如キ編
2 北支戰場ノ様相ハ武力戰ノ様相ヨリ共產黨ノ地下工作戰ニ適スル如キ編
制ヲ有スル部隊ノ新設ヲ見タリ（北支那特設警備隊）

第四期（昭和二十年）

昭和二十年支那兵團ノ編制ハ特異ナル變遷ヲキミ米軍ノ太平洋方面ヨリスル大陸接岸作戰ニ對應スル爲決戰兵團ヲ掌握スルノ必要ヲ生シ前項既述ノ如キ治安師團ヲモ之ニ充當スルノ要アルニ至リ治安特設鐵道及其沿線警備ノ爲獨立警備隊十一箇ノ編成ヲ見ルニ至リタリ

其ノ編制左ノ如シ

獨立整備隊

司令部

歩兵大隊 六箇（小銃及機關砲裝備トス）

作業隊 一箇

一隊五〇〇〇人

三十三ノ三

2093